

→ 勝利の思い

1. 神様は弱い状況にこそ強く働かれる
2. 神様はすべての状況を益とされる
3. 私達はどんな状況にあっても、キリストにあって圧倒的な勝利者である。

→ ヨシュアとカレブから学ぶ

民数記 13：27 彼らはモーセに告げて言った。「私たちは、あなたがお遣わしになった地に行きました。そこにはまことに乳と蜜が流れています。そしてこれがそのくだものです。28 **しかし**、その地に住む民は力強く、その町々は城壁を持ち、非常に大きく、そのうえ、私たちはそこでアナクの子孫を見ました。29 ネゲブの地方にはアマレク人が住み、山地にはヘテ人、エブス人、エモリ人が住んでおり、海岸とヨルダンの川岸にはカナン人が住んでいます。」30 そのとき、カレブがモーセの前で、民を静めて言った。「**私たちはぜひとも、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。**」31 しかし、彼といっしょに上って行った者たちは言った。「**私たちはあの民のところへ攻め上れない。あの民は私たちより強いから。**」32 彼らは探って来た地について、イスラエル人に悪く言いふらして言った。「私たちが行き巡って探った地は、その住民を食い尽くす地だ。私たちがそこで見た民はみな、背の高い者たちだ。33 そこで、私たちはネフィリム人、ネフィリム人のアナク人を見た。私たちには自分がいなごのように見えたし、彼らにもそう見えたことだろう。」

民数記 14：6 すると、その地を探って来た者のうち、ヌンの子ヨシュアとエフネの子彼部とは自分たちの着物を引き裂いて、7 イスラエル人の全会衆に向かって次のように言った。「私たちが巡り歩いて探った地は、すばらしく良い地だった。8 **もし、私たちが主の御心にかなえば、私たちがあの地に導き入れ、それを私たちに下さるだろう。あの地には、乳と蜜とが流れている。**9 ただ、主にそむいてはならない。その地の人々を恐れてはならない。彼らは私たちのえじきとなるからだ。彼らの守りは、彼らから取り去られている。**しかし主が私たちとともにおられるのだ。彼らを恐れてはならない。**」10 しかし全会衆は、彼らを石で打ち殺そうと言い出した。そのとき、主の栄光が会見の天幕からすべてのイスラエル人に現れた。

→ イスラエルの民とヨシュアとカレブの思いの違い

1. 彼らは何を見たのか？
 - イスラエルの民：約束の地に住む巨人たち
自分たち【小さい、いなごのような存在】
 - ヨシュアとカレブ：約束の地のすばらしさ、乳と蜜の流れる肥沃な土地と果物
神様の力【約束の地の巨人たちは神様の力によって征服される】
2. 彼らはどのような思いを持ち、告白をしたのか？
 - イスラエルの民：私たちは攻め上れない、あの民は私たちよりも強いから」
 - ヨシュアとカレブ：「もし、私たちが主の御心にかなえば、私たちがあの地に導き入れ、それをくださるだろう」
3. 彼らはどのような決断を下したのか？
 - イスラエルの民：モーセにつぶやき、神様に不信を抱き、エジプトに戻ろうとした。
自分たちの意見に反する、ヨシュアとカレブを石で殺そうとした。
 - ヨシュアとカレブ：衣を引き裂いて、イスラエルの民に信仰で訴えた。
「主がともにおられる。約束の地をくださる。敵を恐れるな」

→ 神様の判決

- イスラエルの第一世代でエジプトから出てきた 20 歳以上の大人で生き残ったのは、ヨシュアとカレブのみ。

→ 約束の地での働き

ヨシュア 13:1 **ヨシュアは年を重ねて老人になった**。主は彼に仰せられた。「あなたは年を重ね、老人になったが、まだ占領すべき地がたくさん残っている。2 その残っている地は次のとおりである。ペリシテ人の全地域、ゲシュル人の全土、3 エジプトの東のシホルから、北方のカナン人のものとみなされているエクロンの国境まで、ペリシテ人の五人の領主、ガザ人、アシュドデ人、アシュケロン人、ガテ人、エクロン人の地、それに南野アビム人の地、4 カナン人の全土、シドン人のメアラからエモリ人の国境のアフェクまでの地。5 また、ヘルモン山のふもとのバアル・ガドから、レボ、ハマテまでのゲバル人の地、およびレバノンの東側全部。6 レバノンからミスレフォテ・マイムまでの山地のすべての住民、すなわちシドン人の全部。わたしは彼らをイスラエル人の前から追い払おう。わたしが命じたとおりに、ただあなたはその地をイスラエルに相続地としてくじで分けよ。7 今、あなたはこの地を、九つの部族と、マナセの半部族とに、相続地として割り当てよ。」

1. ヨシュアはイスラエルの民を導いて、約束の地に入りました。
2. 神様は、イスラエルの民が先住民と戦い、占領することを命じられました。
3. ヨシュアが年をとって老人になっていました。このころ 90 歳前後。しかしミッションは未完成。

→ 神様は、年取ったヨシュアに何と言われたでしょうか？

1. 「あなたは年を重ね、老人になったが、まだ占領すべき地がたくさん残っている
2. わたしは彼らをイスラエル人の前から追い払おう
3. わたしが命じたとおりに、ただあなたはその地をイスラエルに相続地としてくじで分けよ

1. 神様にとって、年齢制限などありません。神の使命を果たす上で私達の年齢は問題ではありません。
2. 神様こそ私たちの敵と戦い、勝利を与えてくださる方です。私達は神の道具に過ぎません。
3. 神様は、ご自分の民に対して約束された御言葉を成就させたいと願っておられます。約束の成就是、私達の従順を通して実現するのです。
4. 神様の約束は一世代限りではなく世代に渡る祝福です。

応用：勝利者の思いを持つ

- ヨシュアとカレブから学ぶ・ イスラエルの第一世代で二人だけが約束の地に入ることが許されたヨシュアとカレブは【勝利者の思い】を持ち続けて歩み、約束の地に入った。
- 神様は私たちを用いて、神の約束、働きを成就されます。私達は神様に従順であることが求められています。
- 私たちの応答
 1. 神様から与えられた未完成の仕事【ミッション】を思い起しましょう。主がヨシュアに具体的に未占領地を記されたように、私たちもリストに挙げておきましょう。
【教会の未占領地：北海道、沖縄、聖書学校他】
【貴方に与えられた預言の言葉で成就していない事のリストあげましょう】
 2. 自分の年齢に制限を加えないようにしましょう。もう年を取っているからできないと考えることなく、自分だけの力に頼らないようにしましょう。イスラエルの民は自分の力を見て、状況環境を見て不信仰になり、約束を受け取ることができませんでした。ヨシュアは勝利の思いを持ち続け、ヨシュアは 90 歳を超えていましたが、主が共にいて、戦ってくださると再び確認されました。主の働きのために従順にしたがってまいりましょう。
 3. 信仰の遺産を残すことを心にとめて歩みましょう。約束の地を相続地として分割することは、自分の世代だけの信仰ではなく、教会の第二世代を育てること子供や孫や子孫が信仰を受け継ぐことができるように、助けていくことです。【子供たちが主に仕えていないなら熱心に祈りましょう。次の世代を育成するために祈り、捧げ、奉仕しましょう】
 4. なお一層、主とともに歩みましょう。自分の弱さを見るのではなく、弱さの中に働く主の力を見て不利な状況であっても、主が必ず益へと変えてくださると信じて、ミッションを完走しましょう。